

研究・研修報告書



令和4年10月18日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派  
代表者氏名 稲垣 守

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員 稲垣 守

2 日程

令和4年10月13日(木) 9:30~17:00、  
10月14日(金) 9:30~12:00

3 研究・研修名

第84回全国都市問題会議

4 主催者

全国市長会、公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所、  
公益財団法人 日本都市センター、長崎市

5 会場

出島メッセ長崎

6 受講の目的

個性を活かして「選ばれる」まちづくり

7 主な内容

何度も訪れたい場所になるために

8 所感・提言・課題等

別紙

開会挨拶 全国市長会会長 福島県相馬市長 立谷秀清  
開会市市長挨拶 長崎県長崎市長 田上富久  
来賓祝辞 長崎県知事 大石賢吾（副知事代読）  
基調講演 民間主導の地域創生の重要性  
株式会社 ジャパネットホールディングス  
代表取締役社長 兼 CEO 高田旭人

・主な内容

行政の役割は公共性、民間企業の役割は幸福の最大化。  
働き方改革（健康経営）福利厚生的重要性、（断捨離）（整理整頓）  
全国を盛り上げる地域創生の展開、BS 放送局の立ち上げ、スター  
フライヤーへの資本業務提携、長崎のプロサッカークラブ「V・  
ファーレン長崎」の運営、長崎初のプロバスケットボールクラブ  
「長崎ヴェルガ」立ち上げ運営、長崎駅前にスタジアム・アリー  
ナや商業施設、ホテル等で構成するまちづくり「長崎スタジアム  
シティプロジェクト」を進め 2024 年の開業を目指している。  
長崎スタジアムシティプロジェクトで実行するアイデア集。  
行政に期待すること。行政だから、民間だからできること、今こ  
そ官民そしてそこに住む地域住民の方々と連携し、手を取り合い  
ながら、長崎をはじめ、地域全体の幸福の総量を増やしていきたい。

主報告 長崎市の魅力あるまちづくり

長崎県長崎市長 田上富久

・主な内容

ネットワーク型コンパクトシティ、都心部の機能をおとさない  
まちづくり、（陸の玄関）長崎駅、MICE 施設「出島メッセ長崎」  
（海の玄関）松ヶ枝国際観光船埠頭の拡張『1 から 2 ベースへ』  
“ 交流により栄えるまち ” 長崎、「都市の進化」昭和の観光都市⇒  
21 世紀の交流都市、わがまちの価値とは？①価値を見つける  
②価値に気づく③価値を磨く④価値を生み出す。  
価値を見つめ直して、そのまちの価値気づく契機には、やはり「交  
流」が欠かせない。

一般報告 地域との新しい関わり方・関係人口

島根県立大学 地域政策学部准教授 田中輝美

・主な内容

何度も訪れたくなる場所。都市の新たな魅力と関係人口

一般報告 ビジョンを活かしたまちづくり

～「選ばれる山形市」を目指して～

山形県山形市長 佐藤孝弘

・主な内容

2大ビジョン「健康医療先進都市」「文化創造都市」

将来ビジョンと結びつけた各種政策を展開した結果、まちが向かうべき方向性がはっきりし、市民や企業が連動して同時多発的にさまざまな取り組みが進むという現象が起きている。

一般報告 「交流の産業化」を支える景観まちづくり

～長崎市景観専門監の取り組み～

一般社団法人地域力創造デザイナー 代表理事 高尾忠志

・主な内容

部分から全体に働きかける。街中夜間景観(観光客を泊りにする)

駅のデザインは自治がおこない事業者任せない。

ビジョンを持って仕事に取り組む人材が自治体に多く存在している地域が、分野融合型のクリエイティブな成果を出し、より良い地域になっていく。

パネルディスカッション

個性を活かして「選ばれる」まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

コーディネーター 東京都立大学法学部教授 大杉 覚

パネリスト ゆとり研究所所長 野口智子

山形大学生命環境学部教授 田中 敦

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一

岐阜県飛騨市長 都築淳也

兵庫県伊丹市長 藤原保幸

東京都立大学法学部教授 大杉 覚

「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ

ゆとり研究所所長 野口智子

人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ 「雲仙人プロジェクト」の試み

山形大学生命環境学部教授 田中 敦

ワーケーションの意味の拡張と変異

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一

人は人に会いに行く！ 「まち歩き」で見つけた“まちのつくり方”

岐阜県飛騨市長 都築淳也

人口減少先進地の挑戦 ファンと共に取り組むまちづくり

兵庫県伊丹市長 藤原保幸

清酒発祥の地・伊丹 酒と文化が薫るまち

次期開催市市長挨拶

青森県八戸市長

熊谷雄一

閉会挨拶 公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所理事長 小早川光郎

### 所感・提言・課題等

少子高齢化、労働人口の減少、地域経済の衰退など様々な課題に直面しており、その課題は地域によっては異なりますが、将来にわたって持続可能な都市となる為、各自治体が直面する諸課題に取り組んでいる現状を講演頂きました。小牧市も多くの課題に直面しています。

小牧市（都市）が持続的に発展していくためには、広い視野で人と地域の様々な関わり方を実現していくことが必要であり、小牧市の地理的条件や地域資源を活かした魅力あるまちづくりに取り組み、地域外の人が継続的・定期的に訪れる機会を創出するための方策を検討することが重要であることを認識致しました。小牧市においても施策できる事業がありましたらご協力頂ける市民、民間との交流が必要不可欠と考えました。

